

POST CARD

美しきスリッウェアの世界 柴田雅章展

現代日本のスリッウェア制作の第一人者が柴田雅章さんです。穏やかで清々しい器物を生み出す柴田さんの作陶の今を是非、ご覧いただければ幸いです。

6.1(火) - 22(火)

12:00~17:00【水・木曜定休】



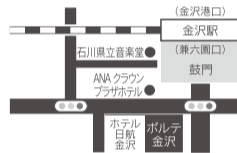
略歴

1948年 東京都生まれ
 1971年 中央大理工学部工業化学科卒
 丹波・生田和孝氏に師事
 1972年 磐田・鈴木繁男氏訪ね、以後、教示を受ける
 1975年 丹波・篠山町にて築窯
 1977年 日本陶芸展初入選以後入選多数
 1979年 国展新人賞受賞
 1980年 日本民藝館奨励賞受賞
 1984年 大阪日本民芸館の展示に初参加
 (1989年~2011年展示主任)
 1986年 国展会友優作賞
 1987年 国画会会員推挙
 2001年 イギリス・ブラックウェルの国展工芸展出品 セミナー講師
 2003年 「英国の古陶・スリッウェア」展開催
 並びに図録出版に尽力
 2005年 築窯30年記念「灰釉スリッウェア」作品集刊行
 2008年 この年より日本民藝館展審査員
 2009年 ギャラリー・セントアイヴスにて
 「柴田雅章クワイブ・ボウエン二人展」以後隔年
 2011年 21回日本陶芸展招待作家
 (以後第22回、23回、24回)
 2013年 国展会退会
 阪急うめだ本店 三越日本橋本店など個展多数

国の新型コロナウイルス感染拡大防止ガイドラインに沿い、鑑賞環境には十分気をつけてまいります。会期中、時短営業・臨時休業・入館制限する場合がございます。

アート
玄 羅
gen ra

〒920-0853 金沢市本町2丁目15-1 ボルテ金沢3F
TEL/FAX 076-255-0988 [ホテル日航金沢横]
E-mail genraart@ozzio.jp
Web http://genraart.com



私が焼物の道に入って今年までちょうど五十年になります。柳宗悦や河井寛次郎といった大先輩の存在によって、「民藝」という世界を知りこの道を志すこととなりました。職人達が人々の暮らしのために作って来た物には、作為がなく人間の手によって素材が生かされ、そこには自然の恵みが与えられ、いのちそのものが息づいているような確かな美しさがあります。そういった物の美しさを感じ自分もそのような物作りがしたいと願い、実用の為の器作りをして来ました。五十年経った今もその思いに変わりはありません。

丹波の焼物は歴史も古く、日本の六古窯の一つに数えられています。江戸期の初めには鉄分の多い化粧土を使った赤土部の仕事があり、後期には白丹波と呼ばれる全面に白化粧が施された物や、イッチンとか流し描きと言われる白化粧を使った装飾技法があります。

私が元より好きであった英国のスリッウェアも素材は同じであり、その技法を研究することで、試行錯誤を重ねながら丹波でのスリッウェアを作り始めこれまで作り続けています。私の所では、土は全て地元のものを水箴し、釉は木灰を主成分とする灰釉、窯は登り窯です。

日本の暮らし方が問われている今、普段使いの器にも目を向けて下さればと、是非手に取って頂けたらと願っています。

柴田雅章

鈴釉掛分スリッウェア大楕円皿

アート
玄 羅
gen ra